お客様へ　●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず実施

●点灯異常の際は電源を切る
異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。

禁止

●可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない
器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

●破損した器具を使用しない
器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

●分解や改造はしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

必ず実施

●定期的に点検する
３年に１回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。設置して 8～10 年※経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長期間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。
※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。（JIS C8105-1解説による）

禁止

●光を直視しない
点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることがあります。

●点灯中・消灯直後にさわらない
点灯中や消灯直後は、灯体や電源ユニットが高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
感電や故障の原因になります。

LED照明使用上の注意

●本照明器具のLEDモジュール部分は交換できません。
●200V電源を使用する場合は、両切りスイッチを使用してください。消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。
●器具の近くで他の機器のリモコン（リモートコントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。器具と他の機器のリモコンを離して使用してください。
●ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
●LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
●表示が発光するスイッチを使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
●照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。
●防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

お手入れ方法

明るく安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。
●清掃する際は必ず電源を切り照明器具が冷えたことを確認してから行ってください。
●照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
●清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

その他の注意　設置や取り扱いについての注意です。

●点灯スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。
（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）
●照明器具の電源は、高ワットの動力源（モーター ）やインバーター等の製品と回路を分けてください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
●常に激しい振動が加わる場所や、橋脚上などで常時振動のある場所には取り付けないでください。故障の原因になります。
●**硫黄成分がある場所には取り付けないでください。一般屋内で使用する場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。（一般の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます）**

保証とアフターサービス　必ずお読みください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。
保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源（電圧・周波数）の使用などによる故障および損傷
④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
⑦日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社　〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号　法人向けLED照明ホームページ　https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/
製品に関するお問い合わせは（通話料無料）LED照明サポートコール　**0800-111-5300**　〈受付時間〉平日9:00～18:00、土・日・祝日9:00～12:00／13:00～17:00（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）
FAXでのお問い合わせは（通信料無料）**0800-111-9300**　Webからのお問い合わせは（メールフォームにご記入のうえ送信してください）https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/

260124-AKU-YSU-01

IRIS ECOHiLUX エコハイルクス **HW-A**

取扱説明書

保管用　この取扱説明書は大切に保管してください

日本国内専用

LED街路灯
シリーズ共通

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

電気工事必要
本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

安全上の注意	ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
図記号の意味	⚠注意を促す記号　〇してはいけない［禁止］内容　●しなければならない［指示］内容

施工担当者様へ　●工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず実施

●電源は定格電圧・定格周波数で使用する
本製品は日本国内のAC100 - 240V(電圧変動±6％以内)、周波数50 ／ 60Hz専用です。それ以外の電源で使用すると、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。

●接地（アース）工事を確実に行う
「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。

●施工説明にしたがい確実に行う
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令や規格にしたがって行ってください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。

●十分に絶縁・防水処理をする
口出線との接続を確実に行い、自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻き仕上げてください。接続に不備があると感電の原因になります。

●照明器具の質量に耐える場所に取り付ける
取り付け部の強度が十分でないと、落下による火災や感電の原因になります。

●被照射物と1m以上離す
近すぎると照射物の変色・変形・火災の原因になります。

●器具本体は必ず鉛直下向きで使用する
器具を鉛直下向き以外では使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

禁止

●破損している照明器具を取り付けない
感電・火災・落下・けがの原因になります。

●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。

●粉塵・オイルミスト・引火性ガスや虫の発生する場所には取り付けない
発熱・発煙・発火の原因になります。

●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、照明器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

●分解や改造はしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

●塩風の影響を受ける場所には取り付けない
器具は耐塩仕様ではありません。腐食や落下による重大なけがの原因になります。

●日中の点灯はしない
施工時の一時的な確認以外では点灯しないでください。不点灯の原因になります。

●適合径以外のポールとの組み合わせでは使用しない
器具落下の原因になります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

必ず実施

●接地（アース）工事を確実に行う
本製品には接地工事が必要です。入力電圧が150V以上300V以下のものはD種（第3種）接地工事を「電気設備技術基準」に準じて行ってください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。

禁止

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない
腐食や落下の原因になります。

●電源ユニットの口出線に力を加えない
口出線を持って器具を運搬しないでください。断線や絶縁破壊、接触不良による発熱事故や故障の原因になります。

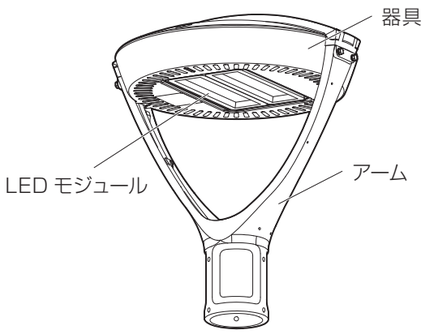
禁止

●風速 60m/s を超える風を直接受ける場所や、経年で強度が低下する場所には取り付けない
60m/sを超える風を受けると落下するおそれがあります。また、経年使用により取り付け部の強度が低下することが想定される場所には、取り付けないでください。

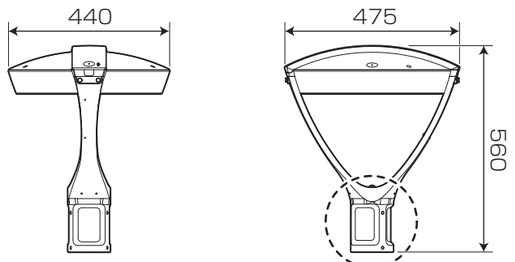
各部の名称

●取り付ける前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
●部品が不足している場合は、お買い上げ店またはサポートコールまでご連絡ください。

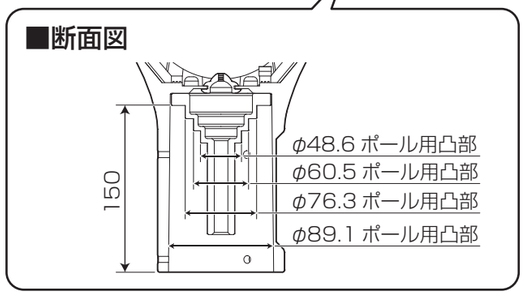
■器具



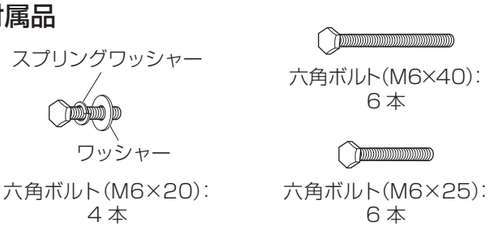
■取付寸法図



■断面図



■付属品



仕　様

品番		全光束 (lm)	質量 (kg)
グレー	景観色		
GL1M20W08B-K5R7-GR	GL1M20W08B-K5R7-BR	2600	約7.5
GL1M50W08B-K5R7-GR	GL1M50W08B-K5R7-BR	6500	
GL1M50W16B-K5R7-GR	GL1M50W16B-K5R7-BR	8000	
GL2M80W08B-K5R7-GR	GL2M80W08B-K5R7-BR	10800	約8.3

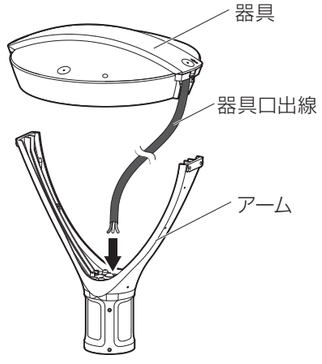
●使用電源：定格電圧AC100-240V、定格周波数 50／60Hz　●使用温度範囲：−40℃～+40℃
●LEDモジュール設計寿命：60,000時間　●平均演色評価数：Ra75　●防塵防水性能：IP68(LEDモジュール)、IP67(電源ユニット)
※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の80%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
　製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

取り付けかた

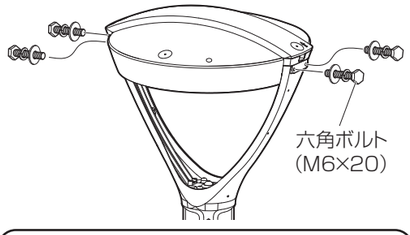
●器具の取り付けは取扱説明書にしたがい確実に行なってください。
　取り付けが正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。

1 器具口出線をアームに通す

①器具口出線をアームの穴に通してください。

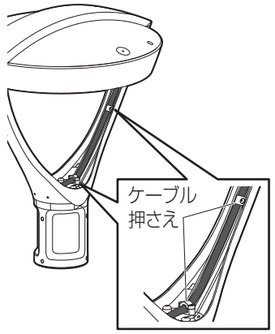


②器具とアームを六角ボルト(M6×20)4本で固定してください。
（推奨締付トルク：7.6N・m）



※ポールの抜止め用穴に貫通したことを確認し、六角ボルトを最後まで締める。

③器具口出線をケーブル押さえで固定してください。
（推奨締付トルク：1.0N・m）



2 器具口出線に、電源線・アース線を接続する

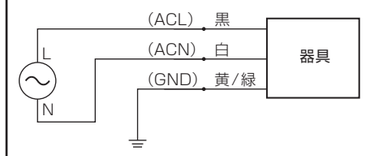
①電源設備の技術基準省令第7条にしたがい、器具口出線の白線・黒線を電源線に接続する。

⚠警告　接続が不完全な場合、発熱・感電・火災の原因になります。

②器具口出線のアース線を使用して、第三種接地工事を確実に行う。

⚠警告　アース工事は電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

■配線図

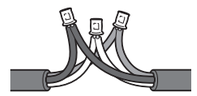


③シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行う。その後、絶縁テープなどでシースと各端子の絶縁処理を行う。

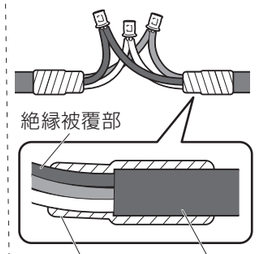
⚠警告　接続部、シース部に直接水がかかると、水分が毛細管現象により器具内部に侵入するおそれがあります。

④各端末を絶縁した後、電源線及び器具口出線のシース（外被）の部分から絶縁処理し、防水性のあるボックスに入れるなどの防水処理を確実に行う。

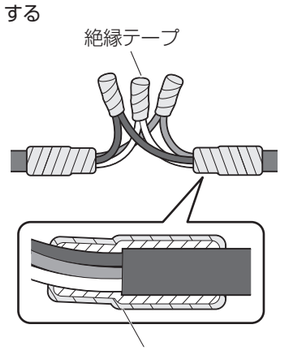
①② 端子を圧着する



③-1 ケーブルとシースを防水処理する



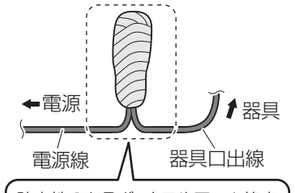
③-2 ケーブルと端子を絶縁処理する



※絶縁処理には、絶縁テープなどを使用してください。

④-1 シースから絶縁処理する

④-2 防水性のあるボックスなどに収納する

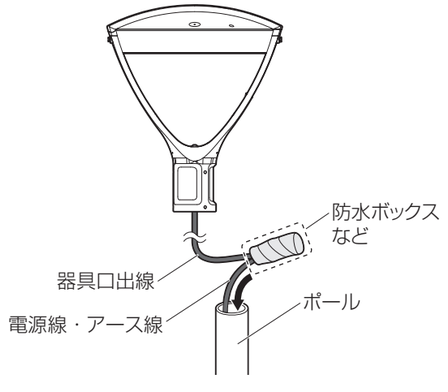
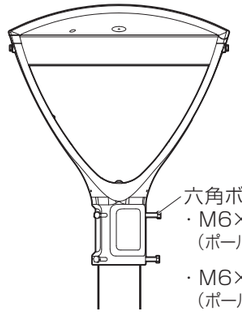


防水性のあるボックスやアーム管内など、水のかからないものに収納。

⚠警告　結線後、絶縁・防水処理を確実に行ってください。処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。

3 器具をポールに固定する

①2で絶縁・防水処理した器具口出線と電源線・アース線をポールの中に入れてください。



②器具とポールを六角ボルト(M6×40)6本または(M6×25)6本で均一に締めつけてください。
※器具が傾かないように、確実に締めつけてください。
（推奨締付トルク：7.6N・m）